

～人の手により大きく2回流路が変更～

巨額の投資と人力、機械、船を駆使して洪水に立ち向かい、発展を遂げました。

荒川上流部改修から
100年
1918-2018

荒川の流路の変遷



江戸時代より前の荒川は、東京湾に流れ込んでいた利根川の支川で、現在の元荒川の流れてした。



江戸時代になると、荒川は熊谷市久下あたりから新しい河道が作られ、和田吉野川と合わせて入間川とつながりました。



荒川放水路が作られ、それまでの荒川が隅田川、そして新しくできた放水路が荒川とよばれるようになりました。

荒川の治水工事

現在の荒川の流路は、江戸時代初期に行われた土木事業によってその原型が形作られています。

江戸時代の1629（寛永6）年に、洪水防御、新田開発、舟運開発等を目的に、荒川から利根川を分離する付け替え工事が行われました。後に「荒川の西遷」と呼ばれるこの河川改修は、埼玉平野の開発や舟運の発達をもたらし、江戸の繁栄を支えることとなります。

こうした江戸の発展は後背地の村々の暮らしを向上させましたが、その一方で後背地での洪水被害も大きくなっていました。

江戸、明治を通してさまざまな治水対策が施されますが、荒ぶる川を抑え込むことはできず、1910（明治43）年の大洪水では埼玉県内の平野部全域が浸水し、東京下町を壊滅的な被害に追いやりました。

下流部では1911（明治44）年に荒川放水路事業に着手（1930（昭和5）年竣工）、上流部の改修は下流部の進捗をみながら1918（大正7）年に着手されました。

「明治43年の大洪水」として今も歴史に残る洪水は、人の暮らしが荒川の氾濫域にあることを物語っています。

▶ 荒川の西遷

1590（天正18）年、江戸城に入った徳川家康は、伊奈氏に命じて利根川と荒川の瀬替えにとりかかります。

荒川では治水工事として、鎌倉時代から堤防を築いていたことが記録に残されています。しかし、江戸時代以前の河川改修はいずれも小規模で“荒川の流”そのものに手をつけることはなかったようです。

氾濫・乱流を繰り返す川を治め、いかに川の水を利用するかは、関東平野の開発の要でした。徳川政権の誕生と技術の進歩により、荒川は人の手によって“流れ”そのものを変えられる時代を迎えます。

現在「荒川の西遷」と呼ばれるこの河川改修事業は、新田開発、舟運路の確保、江戸の洪水の防御などを目的にしていたと言われています。荒川は久下地先（現熊谷市）で締め切られ、利根川水系と切り離されて入間川筋を本流とする流れになりました。これにより埼玉東部低湿地は穀倉地帯に生まれ変わり、また、舟運による物資の大量輸送は大都市・江戸の繁栄を支え、江戸の発展は後背地の村々の暮らしを向上させました。

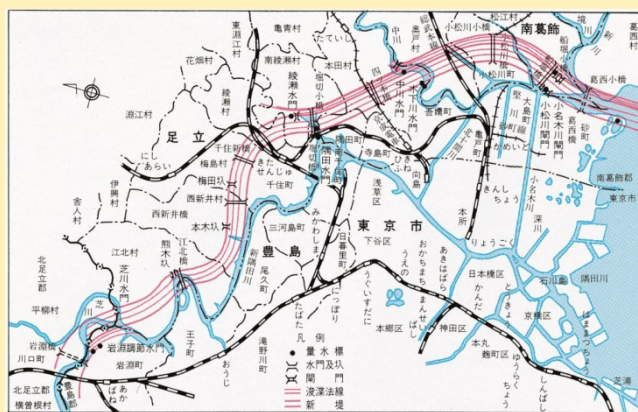


瀬替えが行われた箇所付近の現在の様子

▶ 荒川放水路開削

1910（明治43）年の大洪水を契機に、東京の下町を水害から守る抜本対策として着手されたのが、「荒川放水路」の開削です。この工事は、北区の岩淵に水門を造って本流を仕切り、岩淵の下流から中川の河口方面に向けて、延長22km、幅500mもの放水路を掘るといって大規模なものでした。その大規模工事は、人力、機械、船を駆使して進められました。

荒川放水路の役割は、洪水時には、岩淵水門を閉めて本流（隅田川）の増水を抑え、洪水の大部分を幅広い放水路でいっきに海に流下させることです。全体の竣工には約20年の歳月を要し、1930（昭和5）年に完成しました。



荒川放水路改修平面図

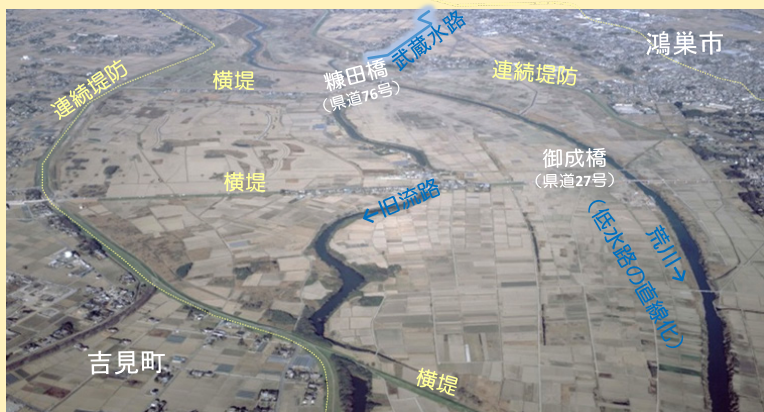
▶ 荒川上流部改修

1910（明治43）年に起きた大洪水を契機に、荒川上流部の改修が1918（大正7）年より着手され、赤羽鉄橋から大里郡武川村（川本町）に至る62.3km、入間川筋の比企郡伊草村（現川島町）地先の落合橋から本川合流部に至る5.9km、新河岸川筋の北足立郡新倉村（現和光市）から岩淵水門に至る11.1kmの計79.3kmの区間で改修工事が行われました。

主な工事として、蛇行した低水路の直線化、広い川幅を活かした連続的な堤防の整備、河川敷の遊水効果を高める横堤の整備、入間川等の合流部の改良が実施されています。工事は河道湾曲部の著しい箇所を先行するとともに、下流部より順次上流に進める方針がとられました。

荒川上流部改修工事の中でも特徴的なことは、治水効果を高めながら農耕地を保護する目的として、通常の堤防に対し直角方向に築かれた横堤を27箇所（左岸14箇所、右岸13箇所）設けたことです。横堤は、上流からの洪水流が及ぼす下流への被害を最小限に防ぐための調節・遊水機能を果たすほか、流速を軽減させて高水敷きや耕作地を保護する役割を担っています。

この工事は着工以来36年を要し、1954（昭和29）年に竣工しました。



御成橋付近の様子

